

【2021年3月19日「共に創る未来の産業」資料】

「ロボットビジネス と地方創生」の関係 ～「スマート農業」普及の支援例～

三井住友海上火災保険(株) 営業推進部 地方創生推進PT (統括)
NPO法人ロボットビジネス支援機構 (RobiZy) 創設者

きたがわ ひろやす

北河 博康

三井住友海上の地方創生取組

全国120を超える自治体と連携協定を結び、**地域課題解決を支援**

<主な支援メニュー>

地域産業振興

働き方改革

SDGs

健康経営

事業承継

起業家支援

販路拡大

サイバーリスク

ロボット産業

農業ビジネス

防災・減災活動支援

BCP ※

交通事故防止

グリーンレジリエンス

地域社会貢献

地域見守り

県産品PR

文化・スポーツ振興

※BCP(事業継続計画)・・・災害など緊急事態発生時に、企業が損害を最小限に抑え、事業の継続や普及を図るための計画

プロフィール ~29年間、三井住友海上を牽引！~

- ▶ ① **1992年~4年間**：名古屋北支店にてリテール営業に従事
⇒ **独自ビジネスモデルに基づく企業開拓の実績**により「**社長賞**」を受賞
- ▶ ② **1996年~8年間**：本社・自動車保険部にて**販売戦略、商品・サービス開発**を担当
- ▶ ③ **2004年~4年間**：大阪・関西業務部にて関西エリアの自動車マーケットを統括
⇒ 「**映像記録型ドラレコの活用**」「**アルコール検知器を活用した残酒対策**」等、その後、業界スタンダードとなる自動車事故防止サービス施策を多数開発
- ▶ ④ **2008年~3年間**：本社・傷害長期保険部にて「**企業のメンタルヘルス対策**」「**健康管理で労災事故防止**」などのサービス施策を開発
- ▶ ⑤ **2011年~8年間**：本社・公務開発部にて**経済産業省・農林水産省など中央省庁への提言・提案活動**、全国の自治体との「**官民連携スキーム**」を展開
⇒ **ロボット革命イニシアティブ協議会コアメンバー、埼玉県ロボットプロジェクト事業化推進アドバイザー、農林水産省「アグリビジネス創出フェア」技術審査員等**

2017年10月、**NPO法人ロボットビジネス支援機構（RobiZy = ロビジー）**を創設、**副理事長に就任**。現在までに**約230会員の組織化**に成功
- ▶ ⑥ **2019年~2021年3月末**：本社・営業推進部にて**三井住友海上の営業部門を統括**
⇒ 「**地方創生取組（社会課題解決サポート）**」に注力。**全国120超の自治体との連携協定締結**に成功。**スマート農業、テック系ベンチャーの支援活動**を展開



三井住友海上のドライブレコーダー

「**価値を創造し
地方創生**」を推進

は多い。地方創生を推進するにあたって陥りがちな
ってきたノウハウを活かし、自治体の地方創生支援
いた。

三井住友海上火災保険

営業推進部
法人マーケット推進チーム
地方創生推進担当（統括）
次長

北河 博康

ぎたがわ ひろやす

平成4年入社、平成31年
より現職。地方創生施策
の企画立案や取り組み全
般的な推進、統括を担当。



三井住友海上のドライブレコーダー付自動車保険

万一の事故、保険会社とつながる!

一定以上の衝撃(注1)を検知した場合

保険会社と
つながる!

衝撃を検知すると、専用安否確認デスクに
自動通報(位置情報等を送信)(注2)

映像データを
自動送信!

衝撃時の映像を当社
に自動送信するため、
SDカードを保険会社
に送る等の手間なし!

自動通報

オペレータと
話せる!

自動通報後、オペレータが専用ドライブレ
コーダーを通じて安否確認コールを行い、
ケガの有無やレッカー手配の要否等を確認
します。(注3)

通話機能

おケガはあり
ませんか?

安全運転をサポート!

事故につながる
おそれがある
運転を注意喚起!

車線逸脱!

前方衝突!

急加減速!

ふらつき!

安全運転
支援アラート

他にも、多様なアラートをご用意!

運転結果をレポート
で振り返り!
家族にも共有!

運転診断
レポート・見守り
サービス(注4)

運転の度に
振り返り!

ドライバーの毎月の
運転結果をご家族等
と共有できる!

お父さん安全運転
しているかな?

「ロボットビジネスと地方創生」の関係

人手不足対策

労災事故防止

高付加価値化

新産業の創出

青森銀行100%出資のあomorい創生パートナーズ(株)様の会報誌
「Région」連載(2020年6月号・7月号)記事

「この人に聞きたい『**ロボットビジネスと地方創生**』」
のサマリー (👉) が閲覧可能

<https://www.aomori-creation-partners.co.jp/story/>

北河博康 (三井住友海上火災保険(株) 営業推進部 次長、RobiZy創設者)

若林千莉 (NPO法人ロボットビジネス支援機構 (RobiZy) 事務局)

佐々木剛 (ビジネスソリューションパートナーズ合同会社 代表社員/CEO)

※敬称略

ロボットビジネスのプラットフォームを構築

【「ロボットと人が共存する社会」を実現するための課題例】

- 「ユーザーニーズを踏まえた実用的なロボットの開発」
- 「リスク対策（保険を含む）など安全面の確保」
- 「実証実験から社会実装（ビジネス・事業化）へ」
- 「現場での運用方法・ルールの確立」

このようなロボットを取り巻く課題の解決と社会ニーズに応えるべく、三井住友海上、ロボットメーカー、販売会社、大学、自治体など、ロボットビジネスに携わる方々と連携し、**ロボットビジネス支援機構（RobiZy）**を設立（2017年10月にNPO法人化）

ネットワーク型の組織運営により、ロボットビジネスのエコシステムを形成し、**安全・安心で円滑・継続的なロボットビジネスの実現を図る**ことを目的として、230超の会員が精力的に活動中

NPO法人ロボットビジネス支援機構（RobiZy）とは

ロボットビジネスに携わる方々とユーザーをつなぐ（橋渡しをする）プラットフォーム！



RobiZyアンバサダー 山崎直子さん

RobiZyとともにイノベーションの実現とロボットビジネスの発展に貢献できるように尽力します！



(宇宙飛行士)

ロボットビジネスの様々な課題を解決！

RobiZyの活動イメージ

1 会員同士の交流促進

会員間の交流会やテーマ別のワーキンググループ(WG)を定期開催しています。専門的な知見を有するRobiZyアドバイザーが参画した意見交換・情報交換などにより、ロボットビジネスのパートナーやチャンスを探すのに役に立ちます。



2 ロボットビジネス支援

ロボット利活用、個別プロジェクト展開、コンソーシアム組成等を支援します。具体的なロボットビジネスの展開や自社のニーズ・実態にマッチしたロボット導入を検討するために有効なサポートが得られます。



3 情報収集・情報発信

行政支援策などロボットビジネスに関する様々な最新の情報を収集できます。フォーラム・セミナー等での登壇やロボット関連イベント等でのデモ出展の機会を活用し、自社のロボットビジネスを効率的にアピールできます。



4 ロボット関連イベントの企画支援

会員が主催するセミナー・シンポジウム・勉強会等の企画や集客活動を支援します。テーマ・ニーズに応じた講師を派遣します。
※講師派遣の費用等は、お気軽にご相談ください。



ロボットビジネスで世の中を変革する！

- ▶ ロボット・AI・IoT等テック系ベンチャーや、優れた技術・サービスを有する企業等の交流&参入を専門家ネットワークと連携して支援することにより、**産業の新陳代謝を促し、地域活性化と社会課題の解決を実現する**
- ▶ 「『**はみ出し者**』が世界を動かす！」がRobiZyのキャッチフレーズ

RobiZy設立記念セミナー@三井住友海上 / 1周年記念シンポジウム@東京大学 (右下) の光景



セミナー講演・デモ展示会等を展開

▶ 国・自治体・業界団体等と連携したセミナー企画やデモ展示を展開中！

主催：一般社団法人新調理システム推進協会

一人手不足と生産性向上こそが経済成長を実現するー『外食・中食産業向けセミナー』

(一社)新調理システム推進協会が、農林水産省外食産業室長などの講師陣を招聘し、外食・中食サービス産業界の課題である人手不足対策をテーマにした会員向けビジネスセミナーを開催します。最新情報等入手でき、更には、多くのグルメに感動を与える有名レストランでの“ご賞味会”もセットになった貴重な機会です。是非ともご参加ください!!

2018年
5/25 金
14:00~19:00 (開場13:30)

場所 **ザ・プリンスさくらタワー東京** コンファレンス
〒108-8612 東京都港区高輪3-31-1

参加費 **15,000円** ※当日現地でお支払いください
(前日・当日のキャンセルには参加費が発生します)

☆ビジネスセミナー

第一部

「外食・中食産業をめぐる情勢について」



新藤 光明 氏 農林水産省 食料産業局外食産業室長

1996年東京大学農学部農業経済学卒。同年農林水産省入省。大臣官房・経済局を経て、人事院制度により米国留学(アメリカン大学・国際開発学修士)、国際部、OECD日本政府代表部(パリ駐在)、食糧部、経営局、農政局を経て、2016年食料産業局輸出促進課課長補佐、17年9月から現職。

第二部

「外食サービス産業のロボット化の展望」



北河 博康 氏 NPO法人ロボットビジネス支援機構(RobiZy)副理事長
(三井住友海上火災保険㈱ 公務開発部 上席課長)

2011年より三井住友海上の東京本社にて、経済産業省・農林水産省・厚生労働省などの中央省庁、関連団体や地方自治体の窓口となり、官民連携スキームを展開中。国のロボット・AI分野の司令塔であるロボット革命シニアティブ協議会メンバー、埼玉ロボットプロジェクト事業化推進アドバイザー、国・自治体の審査委員等を多数歴任。

第三部

「人手不足と生産性向上こそが経済成長を実現する」



三橋 貴明 氏 株式会社経世論研究所 所長

東京都立大学(現 首都大学東京) 経済学部卒業。外資系IT企業、NEC、日本IBMなどを経て2008年に中小企業診断士として独立。三橋貴明診断士事務所(現(株)経世論研究所)を設立。参加ブログ数115万人の人気ブログランキングの「総合部門1位」「政治部門1位」を獲得(2017年9月時点)。ベストセラーとなった著書をはじめ、経済関連の雑誌への連載、寄稿、各種メディア出演、講演等で活躍中。

食農産業クラスター
推進協議会
平成29年度

総会 日 平成29年7月27日(木) 13:00~13:30
会場 豊橋サイエンスコア サイエンスホール

交流会
基調講演 14:00~15:30
農業用ロボット開発・実用化の最前線
~「トマト収穫ロボット」を作った保険会社の社員が語る~

講師 北河 博康 氏
三井住友海上火災保険株式会社 公務開発部 上席課長

◆講師プロフィール
1992年、名古屋大学法学部卒業後、三井海上火災保険(現三井住友海上火災保険)株式会社に入社。
2011年から経済産業省・農林水産省などの中央省庁や全国の自治体を担当する東京本社部門に配属され、経済産業省所属「ロボットビジネス推進協議会」保険WG
主席、国のロボット・AI分野の司令塔である「ロボット革命シニアティブ協議会」メンバー、農林水産省所属「埼玉ロボットプロジェクト」事業化推進アドバイザー、埼玉県ロボットプロジェクト事業化推進アドバイザー



東京ビッグサイト等で
講演&デモ展示!



【第13回サイエンスコミュニティーのご案内】

「最先端ロボットセミナー」のご案内

必見

深刻な人手不足の解消、重労働からの解放、生産性の向上など「社会課題の解決と新しい産業創出」の切り札として、医療・介護、交通、災害・インフラ点検、高齢者等の生活支援など各分野で『次世代ロボット』の普及促進が期待されています。
本セミナーでは、国のロボット・AI分野の司令塔である「ロボット革命シニアティブ協議会」のメンバー、「埼玉県ロボットプロジェクト事業化推進アドバイザー」「国や自治体のロボット事業の審査員」等を務め、様々なロボット開発プロジェクトの組成や実用化・ビジネス化を支援し、「日本のロボットビジネスの第一人者」と呼ばれている講師より、ロボットビジネスの最前線とロボット開発のヒントを説明していただきます。

日時：平成29年1月17日(火) 15時15分から16時45分まで
会場：愛知工科大学 AUTホール (〒443-0047 愛知県蒲郡市西迫町馬乗50-2)
講師：三井住友海上火災保険㈱ 公務開発部 上席課長 北河 博康 氏

講演題目：**ロボットビジネス最前線**
~次世代ロボットのビジネス化・社会実装への期待と課題~
講演内容：「次世代ロボット開発・実用化の最新動向」
「ロボット普及促進における保険業界の役割」
「売れる・使える」ロボット開発のポイント」
「ロボットビジネス総合支援プロジェクトの概要」

申込方法：受講申込書をFAX又はEMailで申込み先まで送付して

医療現場へのロボット導入事例

遠隔検温ロボット (THK)

殺菌剤噴射ロボット (Panasonic)



検温

検温作業

- サーモカメラによる健康管理

遠隔オペレーションセンター

- 業務をアウトソース化可能

遠隔操作ロボット

- 人が操作することで、人と変わらない対応
- AIでは難しいイレギュラー対応
- 決まった動きであれば自律動作可能



設定体温を超えると
訪問者の進行を動作で
ストップ!



除菌剤を噴射 自走ロボ開発中
医療施設などで活躍期待 いま知る

開発中の「HOSPI-mist」

走行しながら周囲のものや
空間を除菌できる仕組み

新型コロナ禍、
ロボット導入の
検討が増加!



UV消毒ロボット (ファームロイド)

病室を殺菌



PCR検査センターを殺菌

アバター（遠隔操作）ロボットの例

警備アバターロボット（Mira Robotics）



飲食業界におけるロボット開発・導入の支援例

《ブロンコビリー保木間店での生産性向上効果》

営業 11:00~23:00
客席数 32テーブル 129席
2017年6月オープン

課題

- ・鉄板で提供しているため**食器が重い**
- ・席でハンバーグをカットする対面サービスのため、**食器の片付けは、後回しになってしまう**
- ・食器の片付けが遅れがちで、**お客様の席へのご案内が遅くなってしまう**
- ・食器の片付けが遅いと**クレームがある**

自動追従・搬送ロボット導入

改善効果

- 満席のディナー時に、5~6組のお客様をお待たせせず**席に直ぐ案内でき売上増**
- 直ぐに片付けられるため、**クレームが減った**
- 下膳の負担が大幅に減った
- ※1台でスタッフ1~2人分の下膳の働き

土日の売上が
3,4万円アップ

チャンスロス
の軽減!

大学発ロボットベンチャーと厨房機器の大手企業をマッチングし、下膳配膳ロボットの開発・実証実験および現場導入を支援!



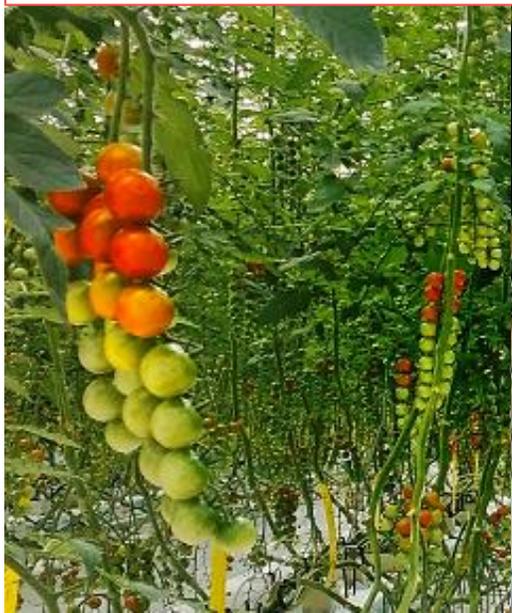
【出典】ニチワ電機株式会社

農業用ロボットの開発プロジェクト支援例

農業界と産業界（ロボットメーカー）をマッチングし
「トマト収穫ロボット」開発プロジェクトをプロデュース！



(農)ながさき南部生産組合
代表 近藤一海氏 (左側)
※日本農業法人協会 副会長
長崎県農業法人協会 会長



人手同様の収穫作業を行うために必要な機能を備えた
自律・自走型のロボットを農水省、農事組合法人他の
皆さまと共に開発を行っています 【出典】スキューズ株式会社

農業界へのロボット・ドローンのマッチング支援例



【2015年10月：長崎県農業法人協会主催「スマート農業フェア」@長崎県諫早市】

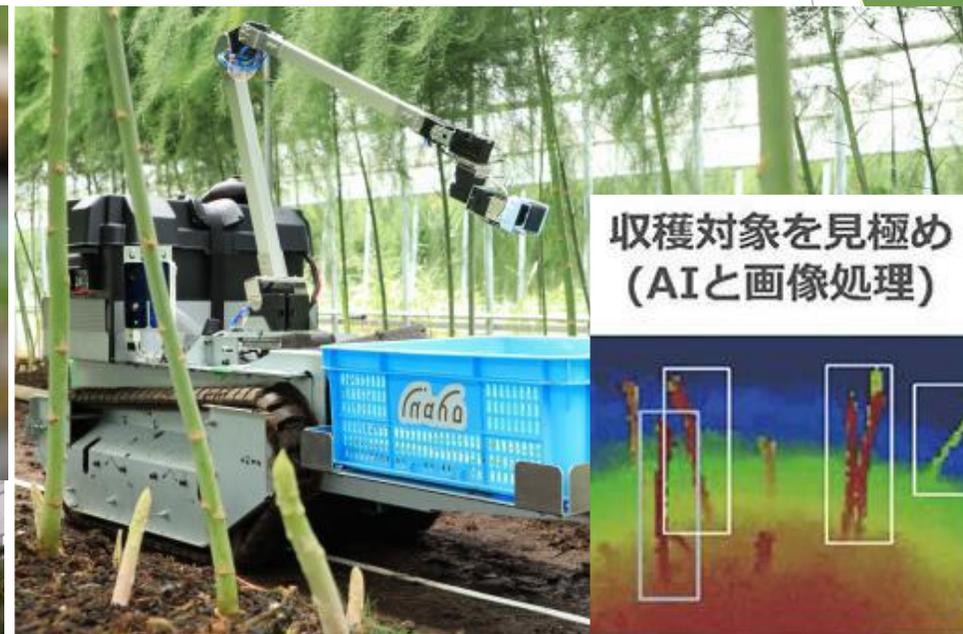
農業の担い手不足をカバーする農業用ロボット例

農業用マルチロボット (銀座農園)



- 自律走行しながら、AIで収量データや環境データなどをオートセンシング
- 積載量100kgで、様々な機材を積んだモビリティとしても活用できる

アスパラガス収穫ロボット (inaho)



- 収穫適期の作物をAI画像認識で判断し、ロボットアームで自動収穫
- 最大7時間連続で稼働。夜間も収穫
- 白い線を設置するだけで自動走行
- 籠が満杯になるとスマホに通知

⇒ **RaaSモデル**で初期費用とメンテナンス費用が不要